

20190207

「マインドと、自分のこれからについて考える」

マインドが大切な理由。

自分のマインドが腐っている本当の理由。

表層：

深層：

最深層：

腐ったマインドをどうするのか。

自分をなんとかそのストーリーに載せようとしてきた。

「成功物語」の主人公に使用としてきた。

でも、このストーリーはもう、破綻している。

なぜなら、主人公が成功しようと思っていないから。

嘘。虚構。作り話。

~~~~~

マインドが腐っているってどういうことか。

物事に関する考え方、行動様式のこと。

つまり、全ての土台。

これが腐っている。

行動、アウトプット、全てが腐ったマインドに汚されている。

成功者のそれではない。

小玉さん曰く、マインドとは

(1) 大量の作業量をこなせる

(2) 言われたことを素直に実践できるか

(自分の変な手法を取り入れない)

これがないと、どんなノウハウを提供されても意味はない。

腐っている土壤に種をまいても実はない。

地盤がゆるゆるの場所に建物は立てられない。

私が人生を変えたい、結果を出したい。

とっているその根本は何なのか。

本当にそう思っているのか。

「続けていけば、どこかで意識が変わって、人生も変わるはず。」  
根本的に何も変えずに、何も捨てずに、できる範囲でただ頑張れば  
なんとかなると思っている。

「求められているものは、「ある制限時間の中で80点を安定的に取れる正確性と処理速度」  
(1年目受講感想に対する管理人さんコメント)」

それが致命的にできていないのに、付け焼刃的に改善する、あるいは口だけで根本的にやり  
方を見直そうとしていない。

「性格だから仕方ない」と性格のせいになっている。

表面から内部へ。見ていく

表層：

「ペンディングできない」「どうでもいい所にこだわり続ける」「同じ失敗を繰り返している」

↓

内部へ

優先順位が見えていない。自分がどのくらいの時間を持っているのか。

どのくらいの時間とお金を投入できるのか。

全てが漠然としている。ただやっているだけ。

資格の学習をしているときとおなじ。

成功者の努力量と違うこと、自分事として意識していない。

「捨てられない」

何も捨てずに、このまま勉強を続けたら、先が見えてきて、プロになれて、「変われる」と思っている。

小玉さんブログより

「考え方、行動、選択が変わらない限り、何をどうしても人生は変わりません」

~~~~~

考え方、行動、選択を変えずに、講座のノウハウを学んで、ゆるい「自己ベスト」で勉強を続けようとしている。

それで、勉強量がある閾値を超えたら、プロになれると思っている。

だから、マインドが腐っている。根本的に。

昨日のブログにそれが表れている。

かなり本心で書いた。自分の努力を柵に上げて、「時間が経てば」理論を振りかざしているのが良くわかる。

なぜ変えないのか。

↓最深層

「本当に変わりたいと思っていない」

「本当に変えようと思っていない」

「何かこれから大変な世の中になるから、ちゃんと備えておこう」

本当の危機感を持っていない。

本当にいま、やらなきゃいけないと思っていない。

自分にもう一度問う。「やる気あるの？」と。

こう聞かれたら、脊髓反射的に、「ある！」と答えてしまう。

本当か。

背中を押されるように、ある程度やってきた。

そこには「やらされ感」があった。

本当に変えようとしているのか。

禁断のワード「向いていない」。

今のこの状態。自分で選択できない。考え方も変えられない。

翻訳以前の話として、そういう生き方に向いていない。

この1年の記憶を無くして元に戻ろうか。

何となく「自己啓発系」の勉強をして、気になった本を読んで、

週末は自分なりに充実した時を過ごして。

根本的問題から目を背けて、津波が来たらそれが運命だったと受け入れる？

会社がなくなったら？リストラされたら？

今より条件の悪い所で働かざるを得なくなったら？

何も考えていない。

ただ、貯金だけはしてきた。

自分で天引きしていく形。

同年代の中では、そこそこためている方だと思う。

それを「投資」という発想は持っていなかったけれど。

「過去はコントロールできないが、未来はコントロールできる」

ただ、今まで通りの生き方（考え方、行動）をしていたら

何も変わらない。

自分のルール。選択を変えないといけない。

それをこの講座でも、

「最短で稼げる特許翻訳者になるためのマインドセット」を

いろんな角度から教えてくれる。

特に私は、ブログからピンポイントで

「お前のそこがダメなんだ！」と何度も指摘を受けている。

小玉さんの言うところの、自分で成功のためのマインドセットを持ってない人が「ケツをひっぱたかわれている」状態。

変えられるところは変えている。

できるところはやっている。

↓

これがもうダメ。

自分のルールと競合しない範囲でやっているに過ぎない。

全ての教えを「素直に」飲み込んで実践するということをしていない。

自分のルールを変えていない。

だから、結果が出ない。

そしてこれからも、このままでは結果はでない。

これがはっきりわかった。

~~~~~

ではなぜ、「ルールを変えられない」(変えていない)のか。

切迫感のなさ。

必然性。

こうなりたい、という強い思いがない。

「変える」か、「1年前に戻る」か。

もちろん、純粹に1年前に戻ることはできない。

「変えようとしたけど諦めた」という事実もついてくる。

例えば、結果を出さなければ1か月後には指が1本なくなる。

2か月後には別の指がなくなる。

そのぐらいの覚悟を持っていない。  
仕事はある。衣食住困らない。切迫感がない。

そして、どうしてもこれがやりたい、というものがあるわけではない。  
そもそも、今まで何も考えずに、「他人が望んでいること」と「与えられた役割」の中で生きてきた。

定年後のサラリーマンのごとく、「何をやったらいいか」状態。

何をしたいのか。何を望むのか。  
これについてもいろんなヒントをもらった。  
中途半端になっている。

ブレイン\_DUMPも途中で終わっている。  
自分はいったい何が好きで、何が得意で、どんな人生を歩みたいのか。

その時々で、当たり障りのない「ぼんやり」とした絵を描く。  
自分でも見えていない。  
ぼんやりしているから、進むべき道も見えない。

0.1%を目指すって、意味わかってんのか。  
並大抵の努力じゃない。  
センスもあるかも。  
センスも経験もない自分は、さらに努力しなきゃいけない。  
成功した卒業生のブログを見たって、自分とは違うな、で終わっていて、  
具体的にどれだけ違うのか  
勉強の量と質、それを見ていない。

独身も、「結婚という選択をしなかった」から独身である。  
決して独身を選んだというわけでもない。  
(昨日の記事と思いっきり矛盾するけど)

何も、自分で選ぶということをしていない。

この1年で変化したことは何だろうか。

現実的に考えよう。

定時に帰れたとして、全てを投入して、極限まで削りだして、8時間。  
これを続けられるか。

この1年、「副業で立ち上げることを」をどれだけ具体的に考えてきたか。  
漠然としている。

使える時間、気力、処理スピード、正確性。

「やってみて、いよいよ無理ならやめるか」

ただでさえ、スピードが出ていない。

限られた時間でできるか？

成長曲線のブレイクポイント、一気に坂を駆け上る時に  
時間とエネルギーが枯渇していたら、立ち上がらない。

「こういう人生を生きたい」→だから今、これを最優先にしてやる。

「4つの領域」にしたって、「何が自分にとって大切なのか」が見ていない。  
形だけまねようとしても、全く意味がない。

↓

これも、マインドが腐っているのにノウハウだけ身に着けようとしている例。

思えば、この1年私はこんなことばかりしている。

それが今の自分にとって必要かどうか考えずに、飛びつく。できない。落ち込む。当然、やるべきことをやる時間が減っている。それに当初は気づかない。気づいてまた落ち込む。

アホだ。あまり自分のことをアホだバカだといってもしかたないが、  
本当に頭がスポンジ状（しかも水を吸収しないへちまスポンジみたいな）。

だから、変えなきゃいけない。

「自分はどうしたいのか」が全く見えていない。

「自分の中の基準値」を持っていない。

それは、自分が得たい人生が描き切れていないから。

どんな人生を生きたいのか。

本音ベースで。本当に思うこと。

何となくこのまま続けられるまで続けられたら楽だ。

待遇はいい。良すぎる正直。

仕事も惰性。営業に飛ばされたらちょっとめんどい。

(このあたりは会社の仕事のことを書いていたので省略します)

違う。まずやりたいこと、生きたい人生を考える。

生きたい人生は？

ここでネットサーフィンしているということは、逃げているということ。

出てこない。

見つからないうちは行動しない方がいい、のか。

ここで本当にストレスがかかっている。

何も出てこない。

好きな時に好きなのところに行く生活。

オフシーズン、平日に人がいないなかでゆっくり旅行を楽しめる。

今まで特に好きだったところ。

雨崩、興坪、しまなみ海道。高い所、景色の良い所。

「苦勞して登ってきた」という感覚。

苦勞したあとの充実感。



猫を飼いたい。

誰にも何の迷惑をかけずに死にたい。(老後)

お金の心配をしたくない。

人に迷惑をかけたくない。これはどうなんだ？

認められたい。

人に頼られる。尊敬される。

親戚づきあいをしなくていい。

車に乗らなくていい。

それほど人が多すぎない。

雪は多くない方がいい。

良質な温泉がすぐ近くにある。

買い物できる場所がある。

こうしたい、これが私の使命だ、やりたいことだ、は正直ない。

ただ、これまでの延長線上にいたらだめだ、という思い。(上の通り、そうおもっていても改善できていない)

過去の自分へのリベンジ。復讐戦。

一度切りの人生なんだから、

20190207 13:30

ずる休み。吐き気がひどい。そうだな。ある意味。

この時間。無駄にはできない。

人生を転換するか。沈むか。

自分のやりたいこと。

過ごしたい人生。

具体的に。ブレインダンプとにかく出す。全て。

40歳、50歳、60歳・・・の自分を想像する。

どこでだれと、どんな生活をしているのか。

エクセルでお金の計算。

この1件に掛かったお金。

これから。

私がこのまま続けても、成功しない理由

### ●お金関連

今の手持ち資金の計算

この1年、使ったお金の計算

今後の見通し

### ●自分がどうしたいか

将来について、具体的に。

小玉さんのは、前にも紹介があったので見ていた。

その時は、刺さってなかった。

「マインドがないとノウハウがあっても無駄」

今まで自分で言っていた、マインドが腐っている、はちょっと意味が違う。

これまでの人生の復讐戦のようなもの。

これまでの人生に対するリベンジマッチのような、  
自分自身への復讐のような。

優先すべきこと

親に振り回されたくない（お金で解決したい）

親戚や友人にも振り回されたくない。

自己ベストを都合よく解釈していた。

環境はある。

マインドがなかった。

シミュレートして、老後に所得が発生することのメリット。

1, 2年無収入になったって、取り返せる。

もちろん収入1年でも早く上げればそれだけ違う。

積分値だ。面積で考えるんだ、という話があった。

副業でやる。

その厳しさを理解していない。

立ち上げるのに必死になるだろう。

貯金はある。2年間は問題ない。

折角自分で環境を作れる立場にあるのに。

なぜその環境を利用しなかったかと言えば、

「辞めるのがもったいない」という気持ちと、

これは後ろからぶっ叩かれるのを覚悟で書く。

「やれないようだったら元に戻る」理由にしていた。

保険というか。都合よく利用しようとしていた。

私は全然、本気ではなかった。

「なれたらいいな」から脱してはいなかった。

「なれたらいいな」のために一生懸命だった。

所詮は「たれば」。

改めて2日前に自分が書いたものを見返すと、ひどい。

素直に書いた。これが本心。

今までの「自分ルール」を全て捨てる覚悟ができた。

(すぐには矯正できないかもしれないが、・・・)

小玉さんのビデオは何かの時に見た記憶がある。

そのときも、なるほど、と思った。

けど、ずっと流れていってしまった。

会社を半日ズル休みして考えた。

エクセルで100歳までシミュレートしてみた。

年金はないものとしているけれど、一応どのくらいの差になるのか確認してみた。

以外とそうでもなかった。

この講座でどっぷり勉強すれば、稼げるようになるのはわかっている。

環境もある。

これまでの生き方を変えたいと思う。

じゃあ、変えたらいいじゃん。

だから、決めた。会社を辞めることを。

「複業」できるほど器用ではない。

全ツッコミできるならその方が早い。

老後、困らないようにするには、ただ会社にしがみついて、何となく勉強を続けるのではなく、期間限定で駆け上がる気持ち。

今までその決断ができなかったのは、「マインドが腐っていた」から。

腐ってたのが一瞬にして強固になることはない。

ようやく、ようやく本当に自分の人生と向き合った。

あまりに遅すぎるが、今が一番若い。

過去は変えられない、未来は変えられる。

万が一、この1年死ぬほどやっても先が見えない場合（もちろん、本当のプロになるにはもっと長い年月が必要だろうけど）、向いてないと思ってあきらめる。

こんだけやってもできないなら仕方ないね、と諦められるくらいにやる。

誰も恨まない、自分の選択も。

これでできなければサボっているだけ。

甘えない、できないとは言わない(今はできていない、わからない)はあるかもしれないが。

なぜ今決断したのか。

小玉さんの動画やブログ記事も、ビデオセミナーもそう。

先日の記事。本当に自分が腐っているのが良くわかった。

このままでは無理。時間の浪費だと思った。

吐き気がする。そうだな、自分自身の甘さに吐き気がするので、間違っはいいない。